

平成27年度第1学期

科学技術政策特論

第14回講義

科学技術と社会

目指せ博士！

アインシュタインと仲間たち、宇宙

文部科学省科学技術・学術政策研究所長

奈良 人司 氏

奈良先生からのメッセージ

日本では近年、博士人材が減少傾向にあります。1900年代から1930年代はアインシュタインを中心にその仲間たちによって、相対論、量子論、素粒子論、宇宙論と物理学が偉大な進歩を遂げました。例として「素人論的宇宙論」を取り上げ、分野に関係なく、夢を持ってもらい、また、博士人材の進路などもご紹介し、是非、博士人材を目指してほしいと願っています。

日時： 2015年 **7月17日**

金曜日

5 講目 16:30-18:00

場所：

工学研究院
オープンホール
[B-201]

奈良 人司 先生

北海道出身。1981年北海道大学工学部土木工学科卒業、1983年同大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。同年、科学技術庁（現、文部科学省）に入省し、宇宙開発、初中等教育、海洋研究開発をはじめ幅広い科学技術行政に従事。また、在ドイツ日本国大使館で科学技術外交等にも従事。2005年～2009年北海道大学客員教授（創成研究機構）。文部科学省大臣官房審議官（高等教育担当）、宇宙航空研究開発機構（JAXA）執行役等を経て、現職。

担当：工学系教育研究センター 教授 渡邊康正
内線：6908
Mail：ceed-int@eng.hokudai.ac.jp